

南木曾町文化財台帳

番 号	1 8	区 分	町指定文化財
種 別	無形民俗文化財	保 持 者	蘭民芸保存会
名 称	大黒踊 (だいこくおどり)		
指定年月日	昭和48年4月18日		
所 在 地	南木曾町吾妻 (蘭)		

概 要

大黒踊りはいつの時代にどこから伝承されたものか定かではないが、一説によれば、江戸時代に木曾の木材を筏流しによって名古屋へ運んだ際、花柳界から習い覚えてきたものと言われている。このことは、大黒踊りの三味線が非常に難しく、踊りと一致するようになるまでには、大変な練習が必要なこと、歌詞が20数番まであって、日本各地のことを歌い上げていることなどによる。

また、他の説によれば、大黒舞いとは、大黒信仰を流布するのに大きな役割を果たした門付け芸人によって踊られた舞いであることから、蘭の床浪山から伊勢神宮御用材を尾張熱田まで川を流して運ぶときに歌われた歌と、大黒舞いとが合体して出来たのが、蘭の大黒踊りではないかということである。

いずれにしても大黒踊りは、一人で踊る非常に鄙びた味のある踊りで、祝いの席でも必ず最後に踊られる踊りである。現在は三人で踊られることが多い